

熊本県の学校給食のパンに使う小麦を国産小麦にしてください。

私たち「くまもとのタネと食を守る会」では、賛同する団体、個人とともに『学校給食に外国産輸入小麦を使用することを止めることを求め、中でも熊本県の学校給食で使われるパンを国産小麦にしていだけるよう』熊本県知事と熊本県教育委員会教育長宛に要望書を提出します。

要望書と共に皆様の署名を添えたく、署名活動へのご協力をお願いしています。なお、個人情報 は 厳重に保管し、教育委員会教育長 への提出以外には使わないことをお約束いたします。

熊本県知事 蒲島 郁夫 様
熊本県教育委員会教育長 古閑 陽一 様

くまもとのタネと食を守る会
熊本県熊本市北区植木町今藤 1 1 4 0 - 1
TEL 0 9 0 - 6 4 2 6 - 3 6 0 4

要望書

- ① 2017年に海外から輸入される農産物のグリホサート残留基準が大幅に引き上げられました。以降、発がん性が指摘されているこの農薬(除草剤グリホサート)が、市中で販売されているパンなどの商品から、残留農薬として検出されています。このことを鑑み、学校給食に使用する食材・特に主食の一つであるパンの原料である小麦について、外国産輸入小麦の使用を止めて、国産小麦へと切り替えることを要望します。
- ②小麦以外の、主食の米をはじめとする農産物(大豆・青果等)もできる限り有機栽培で生産された食材へ切り替えていくこと、また、それについて学校給食会への指導をしていただくことを要望します。
- ③未来を担う子どもたちにとって、学校給食という食と健康の大切さを学ぶ教育を一層推進されることを要望します。

氏名	住所
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県

●とりまとめ団体 『くまもとのタネと食を守る会』

●署名集約先・集約方法(郵送など)

連絡先・郵送先 〒861-0104 熊本県熊本市北区植木町今藤 1 1 4 0 - 1
TEL 0 9 0 - 6 4 2 6 - 3 6 0 4

●署名集約 第一次〆切り 2020年12月25日(金)迄

●賛同者・賛同団体を募ります。上記の「くまもとのタネと食を守る会」事務局宛

子どもたちは、学校給食は、大丈夫なの？

誰もが健康に生きていく上で、安全・安心な食べものは大切です。とりわけ、未来を生きる子どもたちの健康と命が守られ、健やかな成長を育むため、子どもたちにとって重要な食となる「学校給食」について関心を持たないわけにはいきません。現在、学校給食でグリホサート（除草剤ラウンドアップの主成分）の残留する可能性のあるパンを長期間にわたり摂取し続ける子どもたちは大丈夫なのでしょうか？

グリホサートって何？何でパンで検出されるようになった？

2017年日本の農薬の残留基準が大幅に緩和されました。そのとき主な対象になったのが近年発がん性が指摘されるグリホサートという除草剤なのです。このグリホサートを、小麦や大豆等の収穫直前（プレハーベスト）に使うと、小麦や大豆等を立ち枯れさせ、収穫容易にし、おまけに乾燥の手間を省くことが出来ることが発見されました。以来、アメリカ、カナダで広範に使われています。収穫直前に使用 日本のグリホサートの残留基準（ppm）

するため、当然、残留濃度が上がります。そこでまずアメリカで残留基準そのものが緩和され、次いでそのアメリカの要求に応じて、輸入国である日本の残留基準も、右図のように小麦の場合6倍まで緩和されたのです

農産物名	大豆	小麦
2016年以前	20	5
2017年改正	20	30

厚生省 2017年12月25日食品中の残留基準値改正告示より

その結果！パンに残留農薬検出

パンの原料である強力小麦は97パーセント近くが輸入小麦でまかなわれています。中でもプレハーベスト農薬が普及している、アメリカ、カナダ産が大部分です。2017年残留基準が緩和されて以降、市販される食パンの中に、グリホサートが残留しているケースが多発しています（農民連食品分析センター調べ）。そこで冒頭で述べたように、心配なのは、学校給食でグリホサートの残留する可能性のあるパンを長い間摂取し続ける子供達の事です。

世界に逆行する残留農薬の緩和

グリホサートの発がん性を巡る裁判は、2018年アメリカ本国で始まり、今や4万件を超えると被告の製薬会社は発表しています。今日、ヨーロッパはじめ世界では、グリホサートは規制と禁止の方向に向かっていて、日本だけがそれに逆行しているのです。グリホサートが主成分の除草剤ラウンドアップは日本社会にあふれています。農業の生産現場に留まらず、学校で、公園で、空き地で、何でも枯らす便利な除草剤として使われています。ホームセンターで入り口の目立つところに、山積みでおかれているほどです。

学校給食から輸入小麦を追放し、国産の安全な小麦を

こんな状況は変えていかなくては！特に脳の発達に影響を受けやすい子どもたちが食する学校給食から、グリホサートの残留が危惧される輸入小麦粉使用のパンを追放していくことが求められています。大切な子どもたちの学校給食に、安全な国産小麦使用のパンを！